

0. はじめに

御所市が進める歴史的な景観の保全・活用を図る取り組み（街なみ環境整備事業）について、地域の皆さんのご意見をいただきながら「御所まち」の保全・活用に関する各種整備事業を検討する場として、御所中心市街地地区街なみ環境整備事業地区協議会（以下、協議会）を開催しています。

今年度は旧和光ビル跡地の整備に関する検討や、先進地見学会を行いました。

1. 旧和光ビル跡地活用整備検討会

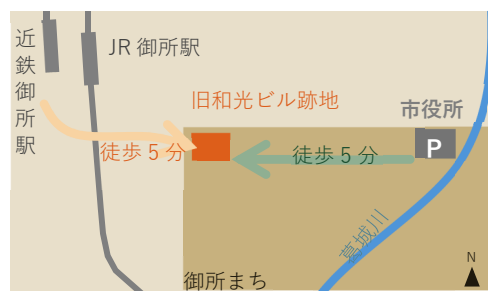
旧和光ビル跡地は御所まちの玄関口となる場所に位置しており、御所まちを楽しむ観光拠点や住民のコミュニティ拠点としての活用に向け、令和4年度から継続的に検討してきました。

昨年度の畿央大学学生からの提案を踏まえ、今年度の協議会として「どのような内容で設計（整備）を具体化していくか」を中心に、検討・協議を重ねました。御所まちの玄関口という立地特性を踏まえ、施設整備の考え方（コンセプト）を整理するとともに、周辺機能との関係を見据えながら、まちの回遊が生まれるために必要な機能、機能を支える空間・設備等について、段階的に検討しました。

また、最終の検討会では、旧和光ビル解体後の現地に赴き、実際の現場状況を踏まえた議論を行うことで、計画の前提条件や空間の捉え方を改めて共有し、検討内容の精度を高めました。



▲解体前の旧和光ビル



▲旧和光ビル跡地の位置関係

◎検討の流れ

実施日	検討内容	参加者
R7 年 6 月 21 日	跡地活用の考え方・機能	参加者 11名
R7 年 8 月 23 日	具体的な機能・空間	参加者 13名
R7 年 11 月 15 日	空間検討	参加者 8名
R8 年 1 月 17 日	現場視察・具体的な空間検討	参加者 9名（現場視察10名）

◎整備のイメージ



◀ 整備活用のイメージ
遠見遮断の機能を保全しつつ、コンセプトに沿った過ごし方のできる空間整備とした

▶ 東屋内部のイメージ
御所まちの歴史・文化情報を伝える空間＋誰もが安らげる空間



歴史的な景観の保全・活用を進めている先進地（和歌山県湯浅町）の視察を行いました。現地では観光ボランティアガイドの方にまちづくりの経緯についてお話を伺い、まちの中を案内していただきました。

参加者：8名

湯浅駅・周辺を視察したのち、重伝建地区の視察を実施した。



湯浅駅の新設に伴い、旧駅舎を街環事業により改修を実施

街環事業により整備された広場
こども向けの空間整備が特徴的



元は「岡正」という屋号の酒屋。
現在はまちなみ散策の休憩所として活用している。



湯浅町のこれまでの取組・活動内容のレクチャーを受けた。

